心地良い緊張感

山田　とよ子

若いうちの苦労は買ってでもせよと昔から言われていますけど六十代になった今でもそう思っています。辛抱とか忍耐とか我慢ではないんです。

毎日をボーっと過ごしたくないし、健康な体でいたいし、いろんな方と関わりたいが叶うのです。

私が今している仕事は家事援助なので慣れている主婦の仕事をするだけですから難しくはないです。一時間か二時間で終わるので自分の時間が無くなることもないのです。

初めてよそ様の家へ上がる時は緊張します が「あなたが来てくれて助かるわ」「また来週も来てね」と言われると、シルバー人材センターに入って良かったなぁとつくづく感じます。

私はこの少しの緊張感が心地いいのです。

20 × 20

充足の日々

篠瀬　寿男

企業退職後、日々の過ごし方に戸惑った。思い切ってシルバー人材センターの除草班に入り九年が過ぎた。

屋外の作業は解放感があり、「おはようございます」と交す挨拶で爽やかな気持ちになれる。仲間と交す雑談はストレス解消になり、情報交換したり、いろいろな考え方に接することで教わることも多い。仕事とコミュニケーションを通して地域の中に溶けこんでいくのは嬉しい。除草できれいになったエリアを眺め、皆で達成感を分かち合う。真夏の作業は疲れるが、終わった後はシャワーで汗を流し、大の字になって昼寝をするのも至福。

支給される配分金は趣味や時々のグルメ、病院の治療代等に使っている。

日々老いを重ねて元気でいられるのはシルバー人材センターのおかげだ。

バランスのよい日常

佐藤一三

私は自動車部品製造会社で長く営業担当をしてきました。

同じ業種の中では当然、友人も限られており、悠々自適とは名ばかりで暇を持て余していました。そんな折、シルバー人材センターの存在を知り、会員登録をしました。

早速、シルバーの事務局から就業のお誘いの電話があり、実際に就業してみると利害関係が無いこともあって、他業種の方とすぐ親しくなり、相談にも乗ってもらえるようになりました。と同時に張り合いも出てきました。

しかも就業は毎日ではないので、時間の有効活用もでき、毎月、配分金も入るので趣味や買い物に使う事ができます。

今では入会前よりもバランスのよい日常生活を送っています。

20 × 20